

「お念仏について」

正徳寺は、お念仏を中心としたお寺です。「念仏」と聞くと、「馬の耳に念仏」とか何か意味のわからない呪文のように感じられるかもしれませんが。今回は、正徳寺の中心となるようなお念仏についてお話ししたいと思います。

「南無阿弥陀仏」?

我々一人ひとりの苦しみや悩みとちよど「〓(イコール)」になるのが念仏です。

人間がほかの人の苦しみを完全に理解することはできません。同情や

なぐさめを寄せられても「お前なんかはこの苦しみがわかるか」と思ってしまうことがあるのではないのでしょうか。

ほかの人の苦しみは、どうしても自分の経験から想像するしかありません。まったく同じ経験をすること

はできないので、これはしようがないのでしょうか。しかし、念仏という仏の慈悲や知恵はちよどピッタリ「〓(イコー

ル)」になるといいます。「〓(イコー)と同じ意味です。では、お念仏は何と「〓(イコール)」なのでしょう

念仏集(せんじやくほんがんねんぶつしゅう)』や『教行信証(きょうぎょうしんしやう)』に書かれています。たとえその理屈が分からなくても、

いま感じている私たちの苦しみや悲しみの重さにちよどかなうものがある。そのつり合った天びんがお念仏なのです。

正徳寺は、お念仏を中心としたお寺です。

これもなにかのご縁です。

もし人生の苦しみや悲しさにあつた時に、こころの中で「なむあみだぶつ」と称(とな)えてみてください。

必ずそこにピッタリ「〓(イコール)」の仏さまの慈悲と知恵があらわれてくることでしょう。

南無阿弥陀仏

南無阿弥陀仏



正徳寺で「こども囲碁道場」の取り組みを始めてから、一年以上が経ちました。

お寺で初めて碁石をさわったお子さんも、一年で大人を負かすほどに熱中してくれて、とても嬉しく思っています。

昨年末は、一周年記念大会を開き二十名ちかい方が参加してくださいました。小学生を大将に連碁というチーム戦をおこなったり、問題を解いてポイントを稼ぎ、ポイント順にプレゼントがあつたりと、とても楽しい時間が過ごせました。

お寺でやる囲碁道場なので、最初と最後に阿弥陀さまに「仲よく楽しく」参加する事を皆で挨拶をします。礼儀やマナーを学びながら、アタマもいっぱい使い、そして勝つことや負けることを学びます。

近年キレル子どもが問題になります。勝つことだけではなく、負けることに向きあつてそこから学べる子は、キレルことはなく人に優しい子に育つてくれると思います。

阿弥陀の慈悲に照らされながら、皆さんの素晴らしい人生への一助になればと思います。ぜひ一度遊びにいらしてください。

★こども囲碁道場

三月 二十五日(水) 二時より
四月 十二日 (日) 二時より

★春彼岸

三月十八日(水) ～二十四日

★永代経

五月六日(水祝) 十一時～



★インターネットでも、不定期に行事やイベントの予定をお伝えしています。

・住職ツイッター @syaku_rikun

・正徳寺ホームページ

Facebook 真宗大谷派日夜山正徳寺

▼ご法事をおつとめになる方は

(1) まず寺に都合をお問い合わせください。
とくに土曜日・日曜日などは混み合いますので、お早めにご連絡ください。

(2) ご法事参加の人数を、ご法事の一週間前までにお知らせください。

お願い…お葬儀をおつとめになる方は、日程が決まる前にお寺にご連絡ください。

他の方のお約束が入っており、先に決められた日程ではお受けできない場合がございます。

よろしくお願いいたします。

★声明会 (お経の練習会)

毎月最終土曜日 午後三時～四時半

要予約 (急な法務等で変更あり)

参加費 500円/回

稽古本「真宗大谷派勤行集」(赤本)

450円

次回は 三月二十八日(土)

四月二十五日(土)

ご参加される方は、前もつてご連絡ください。

電話 03(3471)3938

shoutoku-ji@opal.dti.ne.jp

■当寺の宗旨は 眞宗大谷派です。

■ご本尊は阿弥陀如来です。

■宗祖は親鸞聖人です。

■京都駅前通りの烏丸七条にある

眞宗本廟 (東本願寺) を本山とします。

■教えの要点は、

阿弥陀如来のすべての人を救うという

ご本願を信じて、南無阿弥陀仏と称えて、

感謝報恩の生活をおくることにあります。